

◆令和6年度 大網白里市 放課後子ども教室の概要

1. 「放課後子ども教室」とは

「放課後子ども教室」では、小学校の余裕教室等を活用し、放課後の子どもたちの居場所を設けるとともに、地域の方々の協力により学習支援、文化・交流活動に取り組みます。

2. 実施期間 令和6年4月中旬から令和7年3月中旬までの週2回

- ・上記期間の祝日、学校休業日、学校行事日(卒業式等の行事の他、運動会などの振替休日を含む)及び荒天等により学校が休校・短縮となった場合は休室とします。
- ・インフルエンザ等で学級・学年閉鎖があった場合、児童がその病気を発症していなくても、該当の学級・学年に所属している場合は、参加せずにお休みとなります。
- ・短縮授業等で下校時刻が早まった場合、休室になる場合があります。
- ・1年生は平常日課が始まってからの参加となります。

3. 実施日・実施場所・引き渡し場所

教室名	実施日	場 所	引き渡し場所	備 考
瑞穂小	火・木	パソコンルーム	パソコンルーム入口	専用の上履きを必要
増穂小		相談室	相談室入口	専用の上履きが必要
大網東小		図工室	昇降口前	
大網小	水・金	子育て交流センター 集会室・創作活動室	子育て交流センター 玄関	※大網小隣接施設
白里小		多目的室	多目的室入口	専用の上履きが必要
増穂北小		図工室	図工室入口	
季美の森小		多目的室	多目的室入口	専用の上履きが必要

4. 時間 学校終了後(帰りの会終了後)から17:00まで

終了後は、保護者への引渡しとなります。保護者の方は、16:50～17:00までに必ず各教室の引き渡し場所へお越しください(終了後、学童への引き渡しは可能です)。

5. 教室での活動内容

原則として、活動日には(1)と(2)の両プログラムを実施します。

- (1) 学習活動…計算ドリル・漢字練習帳等の自主学習教材、その日の宿題など
- (2) 文化・交流活動…昔遊びや工作、読み聞かせ、トランプやオセロなどのゲームなど
- (3) 特別プログラム…地域のボランティアの協力を得て実施(マジックショー、アンサンブル、腹話術 等)

6. 募集人数 大網小教室 35名 ・ その他の教室 各30名

- ・申込人数が定員を超えたときは、1学年より順に優先して参加を決定し、定員を超えた学年の申込者の中から抽選により参加者を決定します。
- ・申込状況や抽選の実施の有無をラインネット等で通知しますので、事前に登録をしてください。
- ・結果(入室者・待機者)については、個別に郵送で通知します。

7. 支援員(協働活動推進員)

子どもたちの学習活動や文化・交流活動を支援し、安心・安全に配慮する支援員(協働活動推進員)を教室に配置します。

8. 費用 年間 2,500円 [保険料+諸経費]

参加決定後に納入された保険料・材料費等は、返金できません。

9. 保険の加入 (P6・参照)

- ・事故等に備えて保険に加入します。
- ・補償の内容は、見舞金(ケガや熱中症)、補償金(第三者等への賠償)からなります。
- ・補償範囲は、見舞金の場合、自宅と放課後子ども教室の往復途中も対象となりますが、補償金は活動中のみとなります。
- ・補償の対象外には、故意(子ども同士のケンカやいたずらなど)や天災事故などが含まれます。

10. 申し込みにあたっての注意事項

(1) 帰宅方法

- ・保護者のお迎えによる引渡しとなります。参加児童の安全の確保から、引き渡しは成人の方とします(中学生・高校生は不可)。
- ・学童保育を利用する場合、支援員が学童保育室まで送りますので、予め申し出てください。

(2) 欠席・早退の連絡

- ・放課後子ども教室を欠席・早退する場合は、**各教室の専用電話(携帯電話)**または、**生涯学習課まで保護者が連絡**してください。(教室の専用電話番号は、参加承認決定後、お知らせします)
- ・メールでの連絡も受け付けています。

専用アドレス houkagokodomo@city.oamishirasato.lg.jp

※欠席・早退日の午後0時までに、「①教室名」「②学年」「③氏名」「④欠席(早退)する日」「⑤早退の場合はお迎えにくる時間」を明記して送信してください。

- ・学校を休んだ場合も連絡をお願いします。
- ・習い事などで欠席や早退する日が事前に分かっている場合や事情により長期欠席する場合は、参加申込書に記載するか生涯学習課までご連絡ください。
- ※ラインネットでの欠席・早退連絡はご遠慮ください。

(3) 持ち物

放課後子ども教室に参加する際は、必ず①、②を持たせてください。

- ①学習の時間に使用する計算ドリルや漢字練習帳などの自主課題
お子さまと話し合っ、学習進度に合った教材を各自で用意してください。

②自由帳

※一部の教室は専用の上履きが必要になります(3. 実施日・実施場所・引き渡し場所を参照)

(4) 放課後子ども教室の配付物等

- ・活動中は、専用の名札を着用します(出席時に配付、終了時に回収します)。
- ・配付資料は、放課後子ども教室用連絡ファイルに入れて配付します。資料確認後は、児童を通してファイルを返却してください。

(5) 放課後子ども教室の参加の見合わせ及び取り消し

- ・次のようなことが頻繁に起きた場合は、参加を見合わせていただきます。

- 他の参加児童に迷惑をかけた、傷つけた、または
- プログラムに参加しなかった、支援員の指示に従わなかった、教室運営に支障が生じた場合。

※参加見合わせ前に個別面談を実施します。

・次のようなことが見られた場合は、参加を取り消します。

●放課後子ども教室を連絡なしで何度も欠席した場合。

(6) 放課後子ども教室の退室

退室する場合は、参加中止届を生涯学習課の窓口に提出していただきます。

(7) その他

- ・申し込みの前に、必ずお子さんとよく話し合い、本人の意思を確認してください。
- ・活動中の様子を写真撮影して、市広報・HPへ掲載する場合があります。
撮影・掲載等を希望しない場合は、生涯学習課までお申し出ください。
- ・災害や感染症の拡大などにより、参加者の安全を確保するため、急遽、放課後子ども教室を休室とする場合があります。参加児童の保護者へラインネット等で連絡しますので、登録をお願いします。

11. 参加申込方法 (1)または(2)でお申し込みください。

申込締切:令和6年3月8日(金)17:00まで ※郵送の場合必着

(1) 教育委員会生涯学習課 窓口(市役所 別棟 2階)に申込書を提出

受付時間:平日の8:30 ~ 17:00

(2) 下記宛てに郵送

〒299-3292 大網白里市大網 115-2

大網白里市教育委員会生涯学習課 宛

12. 問い合わせ

大網白里市教育委員会生涯学習課 TEL 0475-70-0380



◆大網白里市 放課後子ども教室はどんなところ？

参加児童が意欲的に取り組めるよう、プログラムを考えたり、さまざまな調整を行っている「コーディネーター」が、放課後子ども教室についてお答えします。



1 放課後子ども教室のねらいとは？

- ・子どもの可能性を育むため、異年齢・少人数の特性を活かし、学習習慣を身につけ、遊びを通して自己肯定感を伸ばし、協調性を養うことを目標としています。

2 どんな内容を実施していますか？

- ・「学習活動」と「文化・交流活動」です。
- ・「学習活動」では、各自で持参した自主教材や学校で出された宿題・課題をやります。支援員は、教室全体を見ながらプログラムが円滑に進められるよう、必要なサポートをします。
- ・「文化・交流活動」は月によって異なります。毎月発行するおたより（プログラム）で確認してください。

例) **昔遊び** (おはじき・かるた・百人一首・あやとり・お手玉・こま・たこあげなど)
テーブルゲーム (将棋・オセロ・トランプ・ウノ・ジェンガ・コインゲームなど)
製作活動 (工作・自然素材を使ったもの・折り紙・牛乳パックを使ったものなど)
外遊び (鬼ごっこ・ドッジボール・サッカー・野外観察など)
室内遊び (いす取り・ジェスチャー・ハンカチ落とし・新聞紙を使ったゲームなど)

【参考】1ヶ月のプログラム

日(曜)	14:40~ 14:55	14:55~ 15:25	15:35~ 16:05	16:15~ 16:45	16:50~ 17:00
1(水)	出席確認 1年	ジェンガ	学習 2年以上出席	百人一首	帰りの会
3(金)	出席確認 1~3年	学習	豆うつし/おにおにおまめ 4年以上出席		
8(水)	出席確認 1年	将棋 オセロ	学習 2年以上出席	お話し会	
10(金)	出席確認 1~3年	学習	ワッペンつくろう! 4年以上出席		
15(水)	出席確認 1年	お手玉	学習 2年以上出席	室内遊び	
17(金)	出席確認 1~3年	外遊び 4年以上出席		学習	
22(水)	出席確認 1年	学習	ぶんぶん飛行機 2年以上出席		
24(金)	出席確認 1~3年	コイン ゲーム	学習 4年以上出席	トランプ ウノ	

※その他、季節に応じた様々なプログラムを実施しています。

また、地域ボランティア団体の協力を得て、音楽鑑賞会・マジックショー・腹話術など、「特別プログラム」を不定期に行っています。



3 支援員（協働活動推進員）はどんな方達ですか？

- ・地域に住んでいるボランティアの方々です。元教員や元会社員、元保育士の方がいます。子ども好きで、時に優しく、時に厳しく、学習や交流活動を支援しています。
- ・各教室には参加児童 10 名につき概ね 1 名の支援員を配置しています。

4 参加児童や保護者の感想はどんなものがありますか？

- ・参加児童の 86.0%から「とても楽しい」・「楽しい」との回答があり（R5 年度）、「支援員が優しく教えてくれる」「クラス以外のお友達ができた」「色々な遊びができて楽しい」等の感想があります。
- ・保護者の方は、98.6%が「参加させてよかったと感じる」との回答があり（R5 年度）、「自主的に学習をするようになった」「家ではできない遊びが体験できる」「教室での経験を活かして家でも工夫して遊んでいる」「友達の幅が広がった」という意見がありました。

5 教室はどんな様子ですか？

- ・各教室によって机や椅子の配置などは異なります。
- ・出席確認時や終わりの会は静かにすること、学習時間は他の人に迷惑をかけないこと、活動時間は楽しく過ごすことを基本にしています。

★ 引き渡し訓練でのお願い ★

- ・年に 1 度、災害時を想定した「引き渡し訓練」を実施します（2 学期を予定）。普段、学童保育を利用しているご家庭も、引き渡し訓練へのご協力をお願いします。

引き渡し訓練の手順

- 日 時 実施月の「おたより」でお知らせします。
- 当日の流れ ①避難場所へお子さんを引き取りにお越しく下さい。
②支援員へ、お子さんの「名前」「続柄」を伝えてください。
③活動している教室へお子さんと一緒に行き、ランドセルなどの荷物を持って帰宅してください

2024年度 放課後子ども教室における補償制度のご案内

放課後子ども教室に参加中の児童が、万が一、事故により傷害を被った場合や他人の身体を害したり財物を損壊した場合について賠償する制度です。

以下のような事故発生時には遅滞なくご連絡ください。



校庭で遊んでいて転倒して膝をすりむいて病院へいった。



熱中症で気分が悪くなり、病院へ運ばれて病院へいった。



子ども教室終了後、帰宅途中に交通事故で入院した。



みんなと野球をしていて、ボールが隣の家の窓ガラスを割った。

補償の内容

見舞金 (ケガや熱中症)	死亡・後遺障害のとき	1,000万円限度(後遺障害は程度に応じて支払い)
	入院したとき	4,000円/1日(180日限度)
	通院したとき	1,500円/1日(90日限度)

補償金 (第三者等への賠償)	身体に対する補償	1名1億円、1事故5億円(自己負担なし)
	財物に対する補償	1事故につき1,000万円(自己負担なし)

*補償期間 2024年4月1日～2025年3月31日

ご注意

- 見舞金については自宅と放課後子ども教室との往復途上も補償の対象ですが、補償金(賠償)については往復途上は補償の対象となりません。
- 補償の対象とならない主な事例
 - ① 故意
 - ② 地震・津波等の天災事故
 - ③ 自分で自分の物を壊した
 - ④ 競技中の事故
 - ⑤ 成長痛・靴擦れ等
- 賠償額や示談額については必ず事前に保険会社の了解を得る必要があります。

この補償制度は民間の保険会社を活用して運営しています。

補償金や見舞金については、保険契約の約款によりますので、ご不明な点はお問い合わせください。

◆放課後子ども教室と学童保育の違い

	放課後子ども教室推進事業	学童保育 (放課後児童健全育成事業)
目的	小学校の余裕教室を活用し、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設ける。地域の方々の参画を得て、学習支援、文化・交流活動に取り組む。 【社会教育・居場所づくり】	保護者が就労等により、下校後に保護者に代わる者がいない子どもに適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。 【社会福祉・就労支援】
対象児童	1～6年生(全学年対象) ※参加児童の約7割が1・2年生。	保護者が就労等により、授業終了後家庭で保護を受けられない1～3年生。 (定員に余裕がある場合は、高学年の児童も受け入れ可能。)
日数	週2日(学校休業日を除く)	月曜～土曜(長期休業含む)
時間	授業終了後～17:00 (16:50～17:00の間にお迎え)	授業終了後～19:00 土曜・長期休業期 8:00～19:00
設置場所	全小学校区 7箇所 ※大網小は、子育て交流センターで実施	市設置 全小学校区 7箇所 ※大網小は、子育て交流センターで実施 民間運営 1施設(みずほ台)
指導員	・コーディネーター(2名) ・協働活動支援員	・学童保育統括指導員(2名) ・学童保育指導・補助員
利用料	年額 2,500円(保険料+諸経費)	月額 8,000円(10日未満の利用は半額) おやつ代(月) 1,500円 保険料(年間) 800円
担当課	教育委員会生涯学習課	子育て支援課

